

DREAMING

Heart of the Dreaming 私たちは「心温かい信頼の医療」を目指しています。

DREAMING INTERVIEW



ドリーミングインタビュー

プロフィール

整形外科 きんじょう **金城** えいけつ **英傑** 先生

出身：大阪府豊中市

趣味：たまに料理をします

略歴：野崎徳洲会病院
中之島いわき病院（現大阪整形外科病院）



先生が医師を目指された理由を教えてください

父が医師をしており、子供の頃から将来は医師になりたいと思っていました。大学を卒業後、地元の大阪の病院で初期研修をしました。研修の終わり頃に自分の希望する科を決めるのですが、私は自分が何科に進めばよいのか分かりませんでした。そんな時、整形外科部長の先生に誘っていただいたことがきっかけで整形外科医を志すようになりました。

整形外科で研修を行う中で、脊椎外科について学びたいと思う様になりました。同時に、地元を離れて働いてみたいという気持ちもありま

した。そんな中、脊椎外科の研修を行っている東北中央病院に応募したところ快く受け入れていただき、現在に至ります。



東北中央病院の印象は？

職種に関わらず、職員みんなが患者様に対して明るく親切に接しており、とても良い病院だと思います。スタッフ間の雰囲気も良く、この病院に来ることが出来て良かったと思います。



整形外科医としてやりがいを感じる時は？

痛みやしびれで困っている患者様が手術を受けて良くなっているのを見ると、とてもやりがいを感じます。先日、父が怪我をして整形外科で入院し、手術を受けるという事がありました。手術が無事に終わったと知った時には、とても安心しました。同時に、手術を行ってくれた先生にとっても感謝しました。父のお見舞いに行った帰り、「東北中央病院にお見舞いに来られている方達も、みんなこんな気持ちなのかな。もしそうだったら嬉しいな。」と思いました。自分のしている仕事は、こんなにも患者様やご家族から感謝されるんだと思いました。これからはもっと患者様やご家族と喜びを分かち合えるようになりたいと思いました。

研修医の頃に、ペラグラという病気（ビタミン欠乏で起こる病気）を見つけたことがあります。当時の院長先生はとても褒めてくれました。私もとても嬉しかったのを覚えています。

「ダイヤモンドが隠れている」とその先生は話されました。普段見慣れている病気の中には、思わぬ（珍しい）病気が隠れていることがあるという意味です。整形外科の病気でも一見すると、普段見慣れているような病気に見えて、実は意外な病気が隠れていることがあります。下肢の痛みを訴えていて、リウマチ性多発筋痛症という病気のことがあります。また、腰椎圧迫骨折でも多発性骨髄腫という病気が隠れていることがあります。「これはもしかしたら別の病

気なのではないか」と思い、調べている時が仕事をしていて一番楽しいと感じる時かもしれません。昔褒められたことが、よっぽど嬉しかったのでしょう。



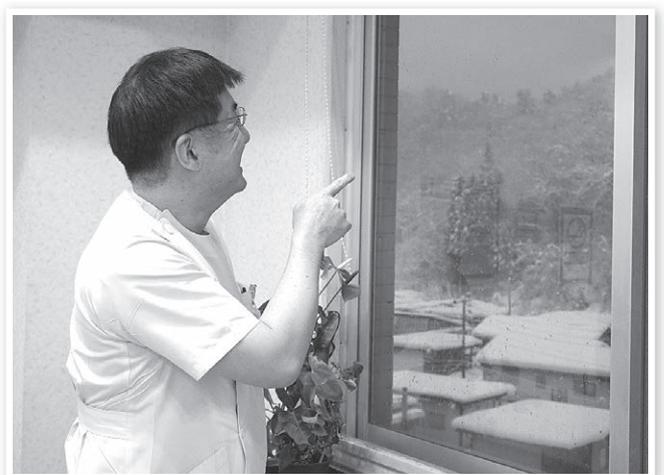
先生のリフレッシュ方法を教えてください

最近、料理をするようになりました。冬には温かいスープを作りたくなります。患者様から頂いたアスパラを素揚げにしたのですが、アスパラってこんなに美味しい食べ物なんだと初めて知りました。また、料理番組を観て、面白いと感じる様にもなりました。



地域の医療機関の方々へのメッセージ

原因不明の痛みやしびれなど、症状の原因をしっかりと突き止めるように努めています。診断や治療にお困りの際はぜひご相談ください。



フレッシュ・ボイス

Fresh Voice

病院にやってきたフレッシュさんのフレッシュな声を伝えるコーナーです。



主任
薬剤師 こばやし **小林** たけし **武志**

【働いてみての感想は？】

昨年9月よりこちらで働き始めてから、まだ新しい環境に不慣れではありますが、皆様と共に仕事を進める中で、改めてチームで実践する医療の大切さを実感しています。日々、多職種が関わることで患者様に最高の医療を提供できる喜びを感じています。

薬剤師としてこれまで15年間の経験を積んでまいりましたが、プロトコルに基づいた薬物治療への参画により薬剤師としての職能を発揮する機会が多く、大変刺激を受けております。その一方で、責任の重さも実感しながら業務に取り組んでいます。

【これからこんな薬剤師になりたい】

前職では、直近2年半にわたり医療安全管理部ゼネラルリスクマネージャーとして病院全体を俯瞰する立場にありました。この経験を活かし、各職種の業務プロセスや潜在的なリスクについて理解し、より安全な医療の実践に貢献できるよう努めてまいりたいと思っております。

何かご相談や気になる点があれば、どうぞお気軽にお声がけください。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

【働いてみての感想は？】

入社してから、あっという間に時間が過ぎたように感じています。現在は薬剤部内の業務に加えて、病棟で入院患者様に関わる仕事も経験しています。新しいことを学び、できる業務が増えるたびに成長を実感すると同時に、責任感も強く感じています。

病棟業務では、入院患者様が退院するまで一貫して関わることができるのが当院の特徴で、学生時代の実習では得られなかった貴重な経験を積むことができています。薬剤提案や変更時の指導を行い、薬物治療の効果がしっかりと現れたときには、大きなやりがいと達成感を感じます。

【これからこんな薬剤師になりたい】

患者様の薬についての抱える問題に気づき、解決できる薬剤師です。そのために幅広い知識が必要だと感じています。診療科を超え、様々な知識を吸収できるように、これからも一つひとつの経験を大切にしながら、より多くのことを学び、目標とする薬剤師像を目指して頑張りたいと思います。



薬剤師 なか がわ **中川** ひさ **尚**

【働いてみての感想は？】

配属当初は学生の時と違い、実際に患者様を目の前にして検査を行うことに不安と緊張を感じていました。さまざまな検査機械の操作や検体処理の仕方など仕事を覚えることも多く、覚えたことをこなす事で精一杯の日々です。

また、患者様との関わりが想像よりも多く、初めての聴力検査では緊張で検査方法を上手に説明することができずに落ち込むことや、患者様からの疑問に答えることができずに知識不足を実感し悔しい思いをすることもありました。しかし、先輩方が優しくご指導してくださるお陰で今ではスムーズに検査を行えるようになりました。検査が終わった後、患者様から直接感謝の言葉をいただいた際は、お役に立てたと嬉しい気持ちになります。

【これからこんな検査技師になりたい】

これから様々な経験を積んでいき、迅速かつ正確な業務を行い、患者様だけでなく同じ職員からも信頼されるような臨床検査技師を目指していきたいです。

今はまだまだ未熟者で、知識や技術不足を痛感する毎日ですが、先輩方からひとつでも多くのことを吸収し、スキルアップに繋げていけるよう努力していききたいと思います。



臨床
検査技師 か とう **加藤** みのり **仁里**

病院NOW!病院のいちばん HOT な
情報をお届けします

検査機器を更新しました!

昨年の9月に多項目自動血球分析装置、10月に生化学免疫装置を更新しましたので、ご紹介いたします。

多項目自動血球分析装置：XR-2000（sysmex製）

血液に含まれる赤血球や白血球、血小板などを測定する機器です。

更新前の機器と比較し、処理能力が約1.5倍にアップしました。また、新たに自動再検機能を取り入れたことで、検査効率が向上しています。さらに、検査試薬が軽量・小型化され、労力負担が軽減したことや、保管管理が容易になったことも利点です。

全国集計値との比較がリアルタイムで行えるようになり、今後も正確な検査結果を提供できると考えています。



生化学免疫インテグレーション装置：Alinity CI（Abbott製）



血液や尿に含まれるたんぱく質、脂質、電解質、糖質、ホルモン、腫瘍マーカーなどを測定する機器です。

コンパクトながら処理能力が高く、150検体を同時に検査することが可能になりました。機器稼働率を最大限に維持するため、測定を中断することなく試薬・消耗品を追加、交換できることも特長です。また、緊急性の高い検体に対し、優先的に対応できる機能が追加され、迅速な診断・治療に繋がっています。

広く実績のある測定原理を採用しており、多施設共用の基準範囲を用い、地域医療連携に寄与できると考えています。ニーズに合わせた新しい検査項目にも対応し、患者様の満足度向上に貢献していきます。

主任臨床検査技師 清野 佳代

この連載では、地域医療連携でお世話になっている施設が、どんな医療を展開しておられるのか、お話を伺っています。



プロフィール

☆院長 なかむら **中村 琢也** 先生 たくや
 ☆診療科目 【消化器内科・内科】
 ☆いつ開業 令和5年5月
 ☆スタッフ 中村琢也院長
 看護師3名、事務3名

◆受付時間◆

	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:00	○	/	○	○	○	○	/
14:00~18:00	○	/	○	○	○	○	/

※土曜午後のみ14:00~17:00

〒990-0032 山形市小姓町1-34
 Tel.023-616-3122



はじめまして。当院は令和5年5月8日に山形市小姓町の吉村医院を継承し、新たに小姓町肝臓内科クリニックとして開業いたしました。私は東北大学を卒業後、関連病院を中心に診療に従事しておりました。山形市立病院済生館の消化器内科に勤務し、肝臓をはじめ消化器疾患全般の診療に従事し、多くの症例を診察してまいりましたが、もっと患者様に寄り添った医療に携われないかと考えるようになり開業に至りました。今では、在宅医療にも関わらせていただき、微力ながら地域の方々に貢献していけたらと思っております。

当院の特徴として、肝臓疾患を中心に、胃カメラ、大腸カメラ、迅速血液検査等、内科全般、発熱も診察しております。以前はウイルス性肝炎の患者さんの割合が肝臓外来では多かったのですが、C型肝炎が経口薬で治癒する時代になり、現在では生活習慣病のひとつである脂肪性肝疾患が多くなっております。肝臓疾患は外来診療がメインであり、評価には採血と画像検査はセットで必須です。当院ではエコー検査を施行しておりますが、中にはMRIやCTが望ましいケースもございます。当院にはMRI・CTがないため、近隣の病院に検査の依頼をしております。患者様にとっては病院に行く手間を取らせてしまいますが、診断のダブルチェックにもなり、メリットが高いと考えております。

東北中央病院には、診療ならびにMRI・CTの撮影でも大変お世話になっております。また、消化器疾患は外科や内科での手術・入院治療が必要なケースもございます。診察のバックアップ体制が整っていることは、クリニックにとって大変心強いです。これからも連携を取りながら、患者様にとって一番良い医療を提供したいと思っております。今後ともどうぞ宜しくお願いいたします。



人間ドック通信

今年度より、宿泊ドックで新たに「サリバチェッカー」というオプション検査が追加されました。

サリバチェッカーとは？

がんのリスクを手軽に検査できる「だ液によるがんリスク検査」です。

サリバチェッカーは、慶應義塾大学先端生命科学研究所の研究成果をもとに開発した、がんの早期発見が期待できる新しい検査です。だ液中の代謝物を超高感度質量分析装置を用いて測定、解析することで現在がん罹患している可能性を調べることができます。

また、がんの種類ごとに**現在のがんリスクを一度に検査することができます。**

【検査可能ながん種】

- 肺がん
- 胃がん
- 膵がん
- 大腸がん
- 口腔がん
- 乳がん(女性のみ)

こんな方におすすめします！

1. 痛い検査は苦手
2. 検査を受けるのが負担
3. 家族にがんの人がいて不安
4. たばこを吸う、副流煙が気になる
5. 便に血が混じる
6. 糖尿病が気になる

Check ✓

一度、ご自身の現在のがんリスクをチェックしてみませんか？

料金は**税込20,000円**です。

お申込みは宿泊人間ドック受検の際、当日受付にて承ります。(事前予約は不要です。)

また、その他オプションも多数揃えておりますので、お気軽にご相談下さい！

東北中央病院 健康管理係 TEL : 023-623-5185・5186

Photo Sketch

東北中央病院/歳時アルバム



第59回中央病院学会

令和6年10月25日(金)に第59回中央病院学会が山形市で開催されました。公立学校共済組合の直営8病院では年1回、持ち回りでこの学会を開催し、日々の研究成果の発表及び情報交換を通して病院間の連携強化を図っています。新型コロナウイルス感染症の影響もあり近年はWeb開催でしたが、5年振りに現地での開催となりました。参加者同士が顔を合わせてのディスカッションは活発に行われ、病院全体の発展に繋がるものと思われます。特別講演では鶴岡市立加茂水族館の村上龍男名誉館長をお招きし、「老朽、弱小、貧乏、、、いらないと言われた水族館の逆転劇」をテーマにお話いただきました。参加者は熱心に耳を傾け、感銘を受けながら拝聴している様子が見えました。

学会終了後の懇親会は、職員による花笠踊りの披露や山形名産品が当たるじゃんけん大会等のイベントで盛り上がり、参加者の皆様に山形を堪能していただけたのではないのでしょうか。

病院間の絆を深めることが出来た有意義な時間でした。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

編集後記

年末からの9連休から始まった2025年。いかがお過ごしでしょうか？9連休となるのは6年ぶりの2019年以来。6年前から比べると現在の自分は、と振り返ってみるのも面白いかもしれませんね。成長を感じられなかった方、もっと向上していきたい方は1年の目標を書いてみてはいかがでしょうか。いつになっても成長していきたいものです。(I.S)

公立学校共済組合 東北中央病院

〒990-8510 山形市和合町 3-2-5
 TEL 023-623-5111 FAX 023-622-1494
<https://tohoku-ctr-hsp.com/>
 E-mail:jimu@tohoku-ctr-hsp.com

■発行責任者/田中靖久 ■編集/広報委員会

東北中央病院
 ホームページへ
GO!

ご利用の携帯端末によっては、アクセスできない場合があります。

